

## 府立高校改革に向けて 検討を進めています

京都府教育委員会では、昨年12月に「府立高校改革推進計画(案)」を公表しました。公表後、府民の皆様への説明会を開催するとともにご意見を募集しましたところ、たくさんの貴重なご意見をいただきありがとうございました。現在、ご意見を集計中ですが、今後これらのご意見を参考にするとともに、さらに市町村教育委員会や学校関係者との協議や意見交換を行いながら、「府立高校改革推進計画」の確定に向けて検討を進めることとしています。

### <府立高校改革推進計画(案)説明会 多くの方々の参加をいただきました>

府立高校改革推進計画(案)についての説明会を、昨年12月から本年1月にかけて、府内の4会場で延べ5回開催しました。各会場とも多数の参加をいただき、その数は合計約1,500名となりました。

#### 【会場でのご意見の一部(要旨)】

- ・多様で柔軟な教育システムの構築を急いでほしい。
- ・中学3年時点で、進路を決めきれない生徒が多い。高校教育を多様化することよりも、普通科の充実が重要。
- ・中高一貫教育やフレックス・ハイスクールについてもっと具体的に説明してほしい。
- ・通学区域を広げ、多くの高校から選択できるようにすべきだ。
- ・入試制度をわかりやすいものに改善してほしい。



### <パブリックコメントによる意見提出 貴重なご意見を多数いただきました>

パブリックコメントでの郵便や電子メール、さらに説明会でのご意見などを合わせ、合計413件のご意見をいただきました。

#### 【お寄せいただいたご意見の一部(要旨)】

- ・ひとつの高校で様々な子どもたちへのサービスに対応するのは限界がある。各高校が特色や個性を出し、それを子どもが選択できる機会を設け、より幅広いサービスや教育を可能とすべきである。
- ・高校が元気になるれば、小・中学校も元気になり地域も活性化する。今回の取組に期待する。
- ・希望する高校を選択できることはよいことであるが、北部等地理的な条件を十分踏まえた改善が必要である。
- ・通学区域の拡大は、学校間格差の拡大、競争の激化を生じさせる。

お寄せいただいたご意見は、府政情報センター等で閲覧できるようにします。同時に「意見の要旨と府の考え方」をお示しします。なお、「意見の要旨と府の考え方」については、京都府教育委員会のホームページ(<http://www.kyoto-be.ne.jp/>)にも掲載します。  
<閲覧や、ホームページへの掲載等は、平成15年3月上旬の予定です。>  
詳しくは、京都府教育庁指導部高校改革推進室(電話075-414-5853)までお問い合わせください。

## 「府立高校改革推進計画(案)」ではこんな高校づくりを目指しています

希望する高校を選べるシステムづくり

通学区域の  
拡大

新しい入学者  
選抜方法の  
導入

受験機会の複数化と  
多面的な評価尺度の  
導入



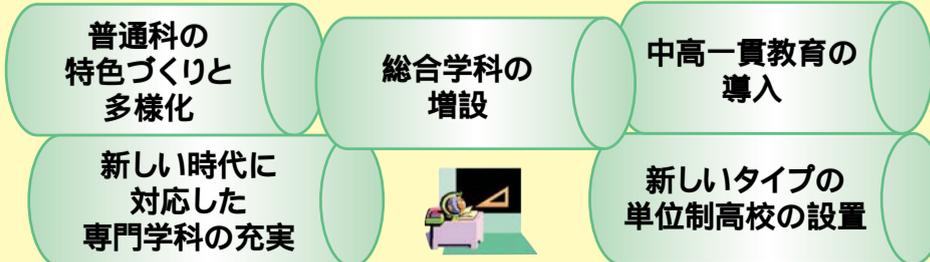
主体的な選択ができる入学者選抜制度へと改善を進めます

### 中学生から選ばれる高校づくり

創意工夫を生かした教育活動を展開します



新しい多様で柔軟な教育システムを構築します



府教育委員会では、「活力ある多様な教育活動が展開できる学校規模の適正化・適正配置」についても検討を進めており、改めて(案)を公表する予定です。

# 匠に学ぶ技と伝統 ～京の伝統工芸品教育活用推進事業～

## 府立八幡高等学校 京の伝統の技に触れて

11月に「京焼・清水焼」(3年工芸)と「京くみひも」(3年被服)1月に再び「京焼・清水焼」(2年実用書道)と計3回にわたって、熟練の指導者に製作実習の指導を受けました。

「京焼・清水焼」では、ろくろを使って成形、絵付けの指導を受けましたが、紙を素材にして平面に字を書く実用書道の授業と違って、陶器を素材にして曲面に字や絵を付ける製作は新鮮な体験となりました。陶芸や書道は、それぞれに深い独自の世界をもっていますが、異なるジャンルの出会いが思いがけない着想を生むきっかけとなったようです。

同様に、被服の授業として実施した「京くみひも」の実習でも、洋裁が中心の日頃の授業とは異なり、角台を使って2色の糸を組み上げてい

く体験は、職人の技と伝統工芸の世界を実感するとともに、家庭科の実習に刺激を与えるものとなったようです。

いずれの講座でも、形を成してくる器や組み上がっていく色合いに驚きと感動を覚える生徒の姿がありました。指導者の大変熱心な指導は、実習だけではなく、伝統工芸品の成り立ちの歴史の解説にまで及び、一層理解を深めるものとなりました。



## 府立与謝の海養護学校 「京の房ひも、撚ひも」に挑戦

12月3日、「京都房撚紐工業協同組合」の熟練の指導者12名を講師に「ひもの結び方教室」を行いました。



この事業は「本物の伝統工芸品にふれる機会をとおして職業に対する理解や、文化の伝統を尊重する心や態度を育成する」ことを目的として実施されているもので、

高等部の生徒が「ひもの歴史や結び方」の説明を受けた後、「菊結び」や「あげまき結び」などを体験しました。丁寧に指導していただき、いろいろな結び方を応用した作品を仕上げることができました。

生徒達の感想には「...いざやってみると楽しくて、ワクワクしてどんな形になるのか、どんなふうになるのか、ひもを結ぶ度に感動が生まれてきて、すごく楽しかった(1年女子)」「週に2回くらいこんな授業があってもいいな(3年男子)」などがあり、初めての体験に日頃の授業とは違った姿を見せていました。

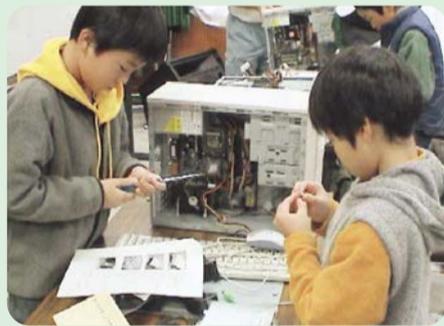
プロの技、本物の文化は生徒達に意欲と感動を与えることを改めて感じた一日でした。結び方の説明書を見て、自分でひもの結び方をマスターする生徒もみられ、「(こんなに上手なら)京都に連れて帰りたい」という職人さんの感想に満足そうな表情でこたえていました。

## 「まなぶ」たのしさ

## ～土曜日子ども活動支援事業～

### 府立工業高等学校 キラキラ土曜 夢工房

福知山市内の4年生以上の小学生35人が、パソコンの組立てなどの体験をしました。この体験教室は、完全学校週5日制の土曜日を充実させるため、府教委主催の府立高校土曜日子ども活動支援事業の一環として実施しました。小学生に、ものづくりの楽しさに触れてもらうことを目的に、「パソコンの組立て体験」、「オリジナルゲーム作り」、「CG製作」の3講座を行いました。



子どもたちは、先生や高校生からの指導を受けながら、メモリ挿入、CD-ROMの取付け、マザーボードの配線など、楽しみながらパソコンの組立てに取り組みました。

また、オリジナルゲーム作りやCG製作では、分からないことや疑問に思ったことに手を挙げて聞く小学生もみられ、非常に積極的で有意義なものづくり体験教室でした。

### 府立桃山高等学校 中学生おもしろ理科実験教室

11月23日(土)に中学生対象の土曜講座を開催しました。当日は快晴で、参加者は天体ドームで三日月のように見える金星や太陽プロミネンスの観察をしました。

その後、教職員や地学部の生徒と一緒に、「木の葉の葉脈を使ったしおりの製作」や「化石の発掘」、「世界のクワガタ虫の観察」などを約3時間かけて熱心に行いました。

また、希望者には、引き続いて夜に、口径40センチの反射望遠鏡を使った天体観望会を行いました。参加した中学生は、初めて見る土星のリングや天王星などに熱心に見入っていました。



この取組をきっかけとして、参加した中学生が「理科」への興味・関心をはぐくみ、やがて高校生スタッフとして小学生や中学生を指導できるようになってくれればと期待しています。

## 府内初の民間人校長先生



京都府教育委員会では、民間企業から校長を登用して、新しい発想や手法を取り入れた学校経営を進めるとともに、インターンシップなど企業との連携をはじめ、時代の進展に対応した教育の充実を図り、府立学校全体の活性化につなげたいと考えています。

今年1月には、的場敏信先生を府内で初めて民間企業から校長に採用しました。

4月に府立学校へ赴任に向けて、学校や教育のことについて研修中の的場先生に抱負を聞きました。

京都府における民間出身で初めての府立学校長として恥ずかしくないよう頑張りたいと思っています。また、企業人としての「もの」づくりで培った経験を教育の場に生かし、様々な人から意見をいただき

ながら、地域や生徒、保護者の方々に愛され、信頼される「特色ある学校」づくりに努めていきたいと思っています。

# 第3回世界水フォーラムに向けて

「京のエコスクール」小・中・高校生の取組をもとに「京の水マップ」を作成・配布します

小畑川と善峰川の水質調査を行いました。汚れた川をきれいにしようと、竹炭による水の浄化実験に取り組んでいます。



向日市立向陽小学校

地元の川の水質や歴史を調査するとともに、学校版ISOに取り組んでいます。



山城町立山城中学校

木津川の水生物や植物などを多様な観点で調べています。TV会議で向陽小学校と情報交換も行いました。



府立木津高等学校



網野町立網野北小学校

身近な川の水生物や海水から採取した塩を観察したり、全校あげての清掃活動に取り組んでいます。



府立海洋高等学校

実習船による海洋調査や由良川の水質調査を行い、水質汚染を科学的に分析しています。



綾部市立上林中学校

上林川についての学習成果を映画にして、地域の人に川を守る大切さを啓発しています。



「水のえん2003 in 京都」に出展します **入場無料**

日 時：平成15年3月21日(金・祝)～23日(日)10:00～17:00

会 場：京都市勧業館「みやこめっせ」(京都市左京区岡崎)

## 大山崎町立第二大山崎小学校

## きょういくきたみなみ

## 日吉町立殿田小学校・胡麻郷小学校・五ヶ荘小学校・殿田中学校

### 琵琶湖フローティングスクール「湖の子体験」

滋賀県の立入が丘小学校の児童と一緒に学習船「うみのこ」に乗って1泊2日の航海体験学習を行う事業も2年目を迎えました。5年生は、一人ひとりの自己紹介を電子メールで事前に行い、学習船に乗船すると、すぐに班を組んで活動しました。10月からは、NIEの取組として、新聞記事で琵琶湖の環境を調べ、「世界水フォーラム」の記事に接する機会となっています。また、琵琶湖の社会見学では「わくわくNIE第6号」を使って新聞にまとめて表現力を高めました。

「琵琶湖発見!北湖と南湖の違いに驚いた。琵琶湖にゴミはあまりおちていなかった。滋賀県の人気がつけているからだろう。」

2日間の交流はとても豊かな経験になりました。2月27日には、立入が丘小学校の5年生が来校して交流し、さらに本年10月の「湖の子体験」に向け、一層の交流を図りたいと考えています。



### いきいきウォーク～古の鯖街道を歩く～

日吉町教育委員会では、文部科学省の「教育総合推進地域事業」の指定を受けて、基本的人権尊重の精神を高め、総合的な学力の充実を図るため、学校・家庭・地域・行政が一体となった総合的な取組を進めています。

その取組の一つとして、夏休みに「最後まで頑張りとおす力」「集団生活の大切さ」を培い、「生きる力」の育成をめざし、町内の小学校4年生から中学生までを対象に、福井県から日吉町までの古道60kmを2泊3日で踏破する合宿「い

いきいきウォーク～古の鯖街道を歩く～」を実施しました。

大自然の中での苦しい体験をとおして、やりきることの充足感を味わい、社会性や協調性を身につけた子どもたちの自信に満ちた姿に、保護者からも取組への大きな共感が寄せられているところです。



## シリーズ 人権

### 作品づくりをとおして 人権尊重の心を

京都府や京都府教育委員会など12の団体が構成されている京都市人権啓発推進会議では、小・中・高校生のみなさんに、ポスターの制作を通じて基本的人権に対する一層の理解を深めてもらうため、毎年人権擁護啓発ポスターコンクールを実施しています。

本年度で19回目を迎えたポスターコンクールには、府内の学校から3,737点の作品が寄せられました。また本年度は、「みんなで創る人権五・七・五」標語コンクールも実施し13,532点(青少年の部)の作品が寄せられました。

各学校では、人権学習の一環として、積極的にこのポスターや標語の作成に取り組み、人権を尊重することについて考えるよい学習の機会としています。作品づくりをするとき、子どもたちは、人権について改めて考え、自分たちに関わる身近な人権問題を題材に選んでいます。生活の中のさまざまなできごとを人権という視点に立って考えるとともに、それぞれに気づいたことや思ったことを絵や標語に表現することをとおして、人権感覚を磨き、豊かな感性をはぐくんでいます。

保護者のみなさんも子どもたちの作品をご覧になり、人権の大切さについて、改めて考える機会にさせていただきたいと思ひます。

こえかけて  
ひとりぼっちを  
つくらない

青少年の部・最優秀賞  
亀岡市立畑野小学校3年  
上河 菜さん

みんな一緒に  
笑顔の風船  
ふくらまそう



京都府教育長賞  
笠置町南山城村中学校組合立笠置中学校3年  
中 稔里さん

# 力作約6,000点を一堂に展示 第34回教育美術展覧会

第34回教育美術展覧会が平成15年1月17日(金)から19日(日)まで京都市美術館で開催され、約10,000人の来場者があり、子どもたちの力作を熱心に鑑賞されました。

この展覧会は、府内の国・公・私立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、盲・聾・養護学校の児童・生徒の作品約6,000点を展示するもので、学校における美術・工芸・書道教育等の成果の発表を通して、児童・生徒の創造性を高め、心豊かな人間性を育成することを目的として毎年開催されています。

また、この展示とともに本府と友好提携を結んでいる陝西省、ジョウジャカルタ特別区、オクラホマ州、レニングラード州、エディンバラ市の児童・生徒の作品も国際交流作品として展示されました。



なお、この本部展覧会終了後、府内3地域(網野町、綾部市、木津町)で地方展覧会も開催され好評を得ていました。

# 府立盲・聾・養護学校 児童生徒作品展

京都府教育委員会では、毎年、冬(1月)と夏(8月)に「ぶらり嵐山」(京都市右京区)で京都府立盲・聾・養護学校児童生徒作品展を開催し、日頃の教育活動の成果を発表しています。

今回は、聾学校のシルクスクリンによる版画や、桃山養護学校の木工製品、中丹養護学校の陶製の傘立てなど、子どもたちの心こもった力作が並び、訪れた多くの保護者や府民の皆さんから高い評価を得ていました。



## シリーズ文化財

～温故知新～



宇治市正覚院の木造毘沙門天立像。鎌倉時代後期の円派の仏師、京都三法印朝円の作と考えられる。優美で繊細な姿で、彩色や鍍金の状態も非常に良い。



芳春院の昭堂(呑湖閣)。芳春院は大徳寺にある加賀前田家の菩提所。昭堂(呑湖閣)は望楼風の上層を持つ他に例のない建物であり、歴史的に大変貴重である。

## 守り伝えたい文化財

文化財は、我々の祖先の長い年月にわたる創意と努力によって生み出され、伝えられてきた貴重な国民的財産です。また、文化財は、日本の歴史、文化を考える上で欠くことのできないものであり、将来の文化環境の向上と発展の基礎をなすものです。

恭仁宮、長岡京、平安京の3つの都が築かれた京都府は古くから文化が開けた場所として、あらゆる時代、各分野にまたがる豊富で質の高い文化財があります。

京都府教育委員会では「京都府文化財保護条例」の趣旨に沿って文化財を調査し、歴史上、芸術上、学術上価値の高い府内の文化財の指定・登録を進めています。平成13年度は下表のとおり新たに16件を指定等し、昭和57年度の条例施行以来、指定等の累計は628件になりました。

これらの文化財を、よりよい状態で後の世に伝えとともに、地域の方々の文化的向上に役立てることが重要です。京都府教育委員会では、冊子・ポスター・ステッカーの作成配布のほか、山城・丹後郷土資料館での展示や体験学習等をとおして、歴史、考古、民俗資料等の文化財の保存と活用を図っています。

平成13年度京都府指定文化財等(平成14年3月26日告示)

### 有形文化財(建造物)

指定	芳春院	6棟(京都市)	徳禅寺客殿	1棟(京都市)
	桂春院	4棟(京都市)	西山神社本殿	1棟(亀岡市)
	尾藤家住宅	8棟(加悦町)		
登録	高倉神社拝殿(日本殿)	1棟(綾部市)		

### 有形文化財(美術工芸品)

指定	(絵画)	絹本着色星曼荼羅図	1幅(南山城村:真輪院所有)
		絹本着色春日宮曼荼羅十六善神図	1幅(加茂町:海住山寺所有)
	(彫刻)	木造毘沙門天立像	1躯(宇治市:正覚院所有)
	(工芸品)	瑞泉寺伝来表具裂(瑞泉寺裂)	23幅(京都市:瑞泉寺所有)
	(典籍)	大般若経	591帖(宮津市:成相寺所有)
	(古文書)	北野天満宮古記録	38冊(京都市:北野天満宮所有)
	(歴史資料)	特芳禅傑関係資料	21点(亀岡市:龍潭寺所有)

### 無形民俗文化財

登録 大送神社の綱引き(保護団体:八木町日置区)

### 史跡

指定 長者森古墳(夜久野町所有)

### 文化財環境保全地区

決定 高倉神社文化財環境保全地区(綾部市高倉町)

## トータルアドバイスセンター

(電話または来所)

子どもの発達、いじめや不登校などの学校教育や、子育てやしつけなどの家庭教育に関することについて精神科医や臨床心理士などが相談を受けます。

	府総合教育センター内 (伏見区)	府総合教育センター 北部研修所内(綾部市)
来所教育相談	月～金〔祝を除く〕 10:00～17:00(電話で予約が必要です)	
電話教育相談	毎日〔祝を除く〕 10:00～22:00 (☎075-612-3268) (☎075-612-3301)	月～金〔祝を除く〕 10:00～19:00 (☎0773-43-0390)